



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 山形南ロータリークラブ会長方針

「伝統承継と変革」

Succession and reformation of traditional

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800

Rotary



RI会長：ボルガー・クナーク 2800地区ガバナー：齋藤 榮助 ガバナー補佐：伊藤 三之

会長：菊地 賀治 幹事：鉄 浩二 会報・史料委員会 委員長：佐々木啓充

委員：金田 亮一 丹野 善将 鈴木 宏之 斎藤 伸治 那須 尚平 片岡 佳彦 本間 安信 佐々木健一

RI会長メッセージ



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリー会長

ボルガー・クナーク 氏

ロータリーが唯一無二で、世界とシェアするに値する存在であるのはなぜでしょうか。皆さんご自身や奉仕の受益者に、どのような比類ない機会への扉を開くことができるでしょうか。

私たちは人との交わりを楽しみます。世界のどこへ行こうと、出会ったロータリアンと親友になり、もっと一緒に時間を過ごしたいと感じます。私たちは、異なる環境、異なる世代、言葉、文化をもっています。ロータリーでの過ごし方でさえ、国によって、またクラブによって異なります。この多様性こそが、ロータリーを素晴らしいものとしているのです。

私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情でつながり、「四つのテスト」を信じています。ロータリーを経験する方法はいたるところで異なりますが、「四つのテスト」は誰にとっても同じです。

ロータリーは、奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは、意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは、寄付だけでなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見るすることができます。これは、他にはない機会です。ロータリーは、奉仕のアイデアを実行に移すために、世界を旅する機会を私たちの多くに与えてきました。

ロータリーはまた、リーダーシップの機会も与えてくれます。私たちは皆、新しい大きな責務を引き受けました。これは、自分自身の栄光のためでなく、ロータリーのために、ロータリーのネットワークを強化する機会です。人びとのためにリーダーシップへの道を切り開いてあげることこそ、真のロータリーの理念であり、そうすることで皆さん自身がより効果的なリーダーとなります。

私たちがここに来たのは、ロータリーがもたらす機会を信じているからです。それは、ほかの人びとにとっての機会であり、私たち自身にとっての機会です。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると信じています。私たちはまた、どんな奉仕の行いも、インスピレーションを与えることで私たちを変える力を持っていることを知っています。ご存知の通り、ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。

私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。ロータリアンとして、ロータリーにとってのこの素晴らしい時にリーダーの役割を務められることは幸いです。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。

従って、私たちの年度のテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



地区テーマ

「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう！

国際ロータリー第2800地区
2020-21年度ガバナー

齋藤 栄助氏

私は“ロータリー”に入会して33年、仲間と共に奉仕活動に参加出来る喜びを得てきました。更に新しい会員を数多く迎え入れ、喜びや楽しみを共有したいと願っています。

私は、当然と思っていた欧米の精神文化の土台が損なわれていることへの危機感を強く感じています。何故ならその精神文化が揺らいだら、ロータリーの最も大事な世界の平和を希求する「ロータリーの精神」との隔たりがより大きくなるのではと思っているからです。

世界の悲劇の多くは戦争から発生していることは皆様ご存じのとおりです。

私は終戦の昭和20年に生まれ、戦後の復興期の物のない厳しい時代と共に育ってきましたが、その時分国民全ての大きな願いが再び戦争のない社会を目指すことでした。それには欧米のような「自由」や「平等」が必要であり「民主主義」や「法の支配」の精神を守ることでした。その目標であってロータリー発祥の地アメリカでは、倫理性に富み格調の高い過去の大統領のスピーチを聞くにつけても、民主的な国家として、かく有りたいものと強く憧れたものでした。が、近年では相手を罵りあって聞くに堪えない言葉が飛び交っています。欧米の、更には北や隣の大国含めた「自分ファースト」が蔓延し、世界の為政者の平和を希求する精神は、はるかに後退していると私は感じています。そんな現代ですが、私たち「ロータリアン」は乱れに流されずに、自分の足元を倫理性豊かに率先垂範して行動し、人類の普遍的な倫理がこれ以上毀損しないようにと本気で願っています。

「4つのテスト」の、「真実」「公平」「好意」「友情」「みんなの為」は、世界の共有する価値観で、平和を希求しえる最も基礎にあたる言葉です。そして大きな幸せをも与えてくれます。奉仕の行動は高い倫理性があつてこそ輝きは大きくなります。この思想・理念は今ではどんな宝石よりも強く輝いています。したがって私の年度ではこれを第2800地区テーマとして掲げさせて戴きました。

(「中核的価値」も底の理念は全く同じと思い、皆様に馴染みある言葉を掲げさせて戴きました。)